

タブレットを活用した授業実践

2年B組国語科

この授業は「方言と共通語」で言語活動の一環として行われています。方言と共通語について理解を深めるために、教材としてプレゼンテーションソフトで作成した6枚のスライド枠をもとに、グループごとに



担当を決めて、わかりやすく説明できるようにスライドを完成させ、調べた内容を入れながら、方言と共通語について説明することになります。

言葉の違いで「とても」は、北海道では「まなら」、中部地方では「でら」、等がスライド枠に例と

して挙げられています。それを生徒たちが調べたい言葉を用意し、方言の違いを確認したりしていました。

授業の後半で、まとめた箇所を中心に、説明の練習をしました。



タブレットを使っの説明です。「図表を用いて提案する」で学習しているので、タブレットをうまく使いながら説明していました。

